

5-2. 卸売業・小売業販売額の対全国シェア

大阪府の卸売業、小売業の年間販売額に占める全国シェアをみますと、両者とも低下傾向が続いています。特に、卸売業は昭和51年には18%を超えるシェアを有していたものの、平成14年には13%を割り込んでいます。

(単位：%)

年	卸売業				
	大阪府	東京都	愛知県	福岡県	その他
昭和54	17.3	33.3	8.9	4.1	36.5
57	15.7	37.8	8.3	3.8	34.2
60	16.0	36.8	8.9	3.8	34.5
63	15.9	34.0	9.7	3.9	36.6
平成3	15.1	34.7	9.8	3.7	36.6
6	14.5	34.6	9.5	4.0	37.4
9	15.0	31.0	10.5	4.7	38.9
(11)	13.4	37.5	8.9	4.2	36.0
14	12.9	38.7	8.1	4.1	36.2
(16)速	12.5	39.5	8.1	4.0	35.9

(単位：%)

年	小売業				
	大阪府	東京都	愛知県	福岡県	その他
昭和54	7.8	13.3	5.4	3.9	69.5
57	7.8	13.1	5.5	3.9	69.7
60	7.8	12.8	5.7	3.9	69.8
63	8.0	13.2	5.7	3.6	69.5
平成3	8.1	13.4	5.8	3.7	69.0
6	7.5	12.2	5.8	3.8	70.6
9	7.4	12.1	5.8	4.0	70.7
(11)	7.2	12.1	5.9	3.9	70.9
14	7.2	12.4	6.0	3.9	70.6
(16)速	7.1	12.6	6.0	4.0	70.3

(経済産業省「商業統計表」)

(注)平成16年は速報値。

平成11年、16年商業統計調査は、全国のすべての事業所・企業を対象とした総務省所管の「事業所・企業統計調査」との同時調査（調査票は両調査共通の簡易な様式）で実施し、平成9年調査時に既設の商店でありながら調査対象とならなかった事業所の捕そくを行っています。

